

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

循環器内科ローテーション型専門研修コース（大森）

募集定員

若干名

コースの特徴

東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、卒後2年間の前期臨床研修を修了し、循環器内科の専攻を志す医師に対し、後期臨床研修プログラムを用意しています。

まず内科医としての基礎を固めるため、大森病院循環器内科または総合診療内科で一般内科研修を行います。この期間は内科学会認定医取得のため、偏りなく内科系疾患の症例を受け持つことが大切です。この2年間に内科全般を十分な期間をかけてローテーションすることにより、一般内科に必要な経験と臨床の能力を身につけ、日本内科学会認定内科医取得を中間目標とします。後期研修1・2年目に、希望に応じて循環器内科を含む大森病院の各内科を2～3ヶ月単位でローテーションし、前期研修で不十分であった内科分野を経験・学習し、同時に認定内科医取得のための不足症例を満たして頂くことが可能です。3年目以降は循環器内科に戻り日本循環器学会専門医を始めとした各専門医の取得にも努めつつ、学術活動の基本を開始して頂きます。

後期研修3年目以降は循環器内科の専門的な研修がスタートします。原則として心血管インターベンション室、不整脈センター、救命救急センター、生理機能検査室（心エコー）を、更には教育関連施設をローテートし、虚血性心疾患、心不全、不整脈、弁膜症、救急医療などを一通り研修します。その間各自がサブスペシャリティとして専攻する分野を決め、循環器内科医としてより専門的な知識と技術の修得ならびに臨床医として優れた人格が形成できるようカリキュラムがつけられています。また上級医の指導のもと学会、研究発表ならびに論文作成も積極的に行います。

研修カリキュラム

1～2年目

病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院循環器内科 または 総合診療内科

習得内容

指導医のもと入院患者の診療を行う。内科疾患の診断、治療ならびに代表的検査法であるX線検査、エコー検査、核医学検査、CT/MRI検査、カテーテル検査などを研修する。日本循環器学会専門医の取得を目指す、また日本内科学会認定内科専門医を取得するために幅広く内科系の症例を経験する。望すれば、日本心血管インターベンション治療学会専門医あるいは日本不整脈心電学会不整脈専門医の取得を目指す。

3～4年目

病院名・診療科

- ①東邦大学医療センター大森病院循環器内科、心血管インターベンション室、不整脈センター、救命救急センター、生理機能検査室 もしくは
- ②教育関連病院

研修期間

各 6 ヶ月～1 年間

習得内容

- ① 心臓の特殊検査の手技を取得し、また緊急を含むカテーテルおよびデバイス治療を研修する
- ② 幅広く救命救急疾患を指導医のもと研修し、BLS、ACLS の取得を目指す

5 年目

病院名・診療科

- ① 教育関連病院（三井記念病院、榊原記念病院、心臓血管研究所附属病院、三郷中央総合病院、東京都保健医療公社 荏原病院、東京都保健医療公社 大久保病院、総合東京病院、済生会横浜市東部病院など）への出向 もしくは
- ② 東邦大学医療センター大森病院循環器内科

研修期間

各 6 ヶ月～1 年間

習得内容

専門的に循環器内科医として臨床経験を積み重ね、また各自がサブスペシャリティとして専攻する分野（カテーテルインターベンション、不整脈・心電図、心臓核医学・CT・MRI、心エコー、循環器救急など）を選択し、研究、学会発表、論文執筆も積極的に行う。

- ① 日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医の取得
- ② 日々の臨床に励み、循環器病学を究める

週間予定

外来診療	月曜日～土曜日 午前	初診・再診
	月曜日～金曜日 午後	再診
	(救急患者に対しては専任担当医が随時対応)	
検査部門	心臓カテーテル検査および 心血管インターベンション	月、水、木、金 午前・午後 (緊急症例は随時対応)
	心エコー検査	経胸壁：毎日 午前・午後 経食道：月、水、金 午後 術中超音波：随時
	トレッドミル運動負荷検査	火 午後、水 午前
	心臓電気生理学検査および カテーテルアブレーション・デバイス治療	月、木、金 午前・午後
	心臓核医学検査・CT/MRI 検査	月、火、水、木、金 午前・午後

カンファレンス	内科・外科合同症例検討会	毎週月曜日 18:00
	病棟新患症例検討、教授回診	毎週水曜日 14:00～
	医局勉強会（専門医講演会、問題症例検討、抄読会、研究・学会発表予演会など）	毎週木曜日 18:30～

指導責任者と教育関連病院・施設

東邦大学医療センター大森病院	総括指導責任者	池田 隆徳
大森病院内科後期研修指定病院	指導責任者	
三井記念病院	指導責任者	田邊 健吾
榊原記念病院	指導責任者	井口 信雄
心臓血管研究所附属病院	指導責任者	山下 武志
三郷中央総合病院	指導責任者	大澤 秀文
東京都保健医療公社 荏原病院	指導責任者	日吉 康長
東京都保健医療公社 大久保病院	指導責任者	岡野 喜史
総合東京病院	指導責任者	村松 俊哉
済生会横浜市東部病院	指導責任者	伊藤 良明

コースの実績（学位及び専門医等の取得状況等）

2016年6月現在、卒後10年以上の院内在籍医局員14名中の10名が学位を取得しています。また日本内科学会認定医については、卒後6年以上の院内在籍医局員23名中22名が、日本循環器学会専門医については、卒後8年以上の院内在籍医局員15名中の15名がそれぞれ取得しています。

コースの指導状況

当循環器内科は特定機能病院の一講座として、臨床においてより専門的な役割を果たし、心臓カテーテル検査、心エコー図検査、不整脈等、各部門に専門医を配し、病棟診療においても専門医の資格を持つ医師が指導を行っており、研修には十分なスタッフが確保されています。さらに学会、研究会での発表、論文掲載の指導も充実しています。また内科後期研修指定病院は内科学会認定の教育病院もしくは教育関連病院であり、また当医局関連病院においてもスペシャリティを持つ指導医が複数在籍し、十分な研修が受けられるように配慮しています。

学位・大学院と海外留学について

大学院希望者は積極的に受け入れており、指導教授が研究テーマを選定し、学位取得のための研究と臨床研修がバランスよく行えるよう、現在、12名の大学院生が在籍しており、その全員が社会人大学院生です。今後も社会人大学院生を積極的に受け入れていく方針です。個別にカリキュラムを作成します。海外留学については、当科では複数の留学受け入れ先があり、希望者に対して個別に検討し、充実した海外研修が行えるよう支援しています。

評価及び修了認定

年度ごとにプログラム指導責任者が中心となり、研修の進捗状況を評価します。日本内科学会認定内科専門医を取得することによって後期修了認定を、最終的には日本循環器学会認定循環器専門医資格を取得することにより、循環器内科としての修了認定とします。さらなるスペシャリティの専門医（日本心血管インターベンション治療学会専門医あるいは日本不整脈心電学会不整脈専門医）を目指した場合は、その取得をもって修了認定とします。

認定医・専門医の取得等

学会等名	日本内科学会
資格名	認定内科医
資格要件	教育病院 3 年以上、ACLS 履修等
専門資格の概要	必修化された臨床研修 2 年は教育病院での研修扱いとする。当該学会が指定した教育病院（大学病院を含む）における後期研修プログラムの一環として無認可病院へ派遣された措置がある（1 年以内の派遣に限る）。

学会等名	日本循環器学会
資格名	認定循環器専門医
資格要件	認定内科医、循環器学会会員歴 6 年以上、AHS ACLS プロバイダーコース認定、禁煙の啓発に努めるもの
専門資格の概要	2004 年（平成 16 年）以降に医師免許を取得したものは各認定医取得後、3 年以上本学会指定の研修施設で研修していること。（研修関連施設での研修期間は研修施設の 1/2 として計算する）

学会等名	日本心血管インターベンション治療学会
資格名	日本心血管インターベンション治療学会認定医
資格要件	主術者として 100 例以上の冠動脈形成術の治療経験、心血管カテーテル治療に関する研究業績が 2 つ以上、指導にあたった本学会代議員、専門医、名誉専門医のうち 1 名の推薦
専門資格の概要	申請書類によって審査を行い、条件を満足するものを認定医と認定

学会等名	日本不整脈心電学会
資格名	学会認定不整脈専門医
資格要件	学会認定不整脈専門医資格認定審査申請書、診療実績表、研修修了証明書、研修施設よりの推薦状

専門資格の概要

学会認定不整脈専門医研修施設において合計 5 年以上の修練期間を有すること